

古代 セパレート 取替錠 取付説明書

このたびはNAGASAWA商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
商品正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。

梱包内容一覧

・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください。

記号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
姿図												
名称	本体(おもて)	本体(裏)	飾りプレート	T-60空錠	受座	ト口箱	本体固定ねじ	本体(下)固定ねじ	連結パイプ	本体(下)固定ねじ	本体(下)固定ねじ	錠・受固定ねじ
個数	1セット	1セット	2枚	1個	1枚	1個	2本	2本	1本	1本	1本	4本

1: 切欠きの確認

現行の金物を取り外し 切欠きの確認をしてください。

追加加工が必要な場合 右「切欠き図」を参考に 扉に加工してください。

※ 下部下穴加工 (φ10mm) は 既存切欠きにより対応してください。

○ ねじ止め可能時下穴不要 直接ねじ固定にて対応

△ 既存切欠き干渉時 φ10mm穴加工にて連結パイプ対応

2: 錠・受座の取付

切欠きにあわせ④T-60空錠をセットし⑫固定ねじで取付けてください。

⑥ト口箱に⑥受座をセットし⑫固定ねじで取付けてください。

※ 錠セット時 ラッチの向きを確認し 開き勝手に合わせてください。

3: 飾りプレート・サムラッチ本体の取付

既存の切欠き穴を隠すため③飾りプレートをセットしながら

①本体(おもて)・②本体(裏)を取付けます。

※③飾りプレートがずれて取付けづらい時は、テープで仮止めをすると、らくです。

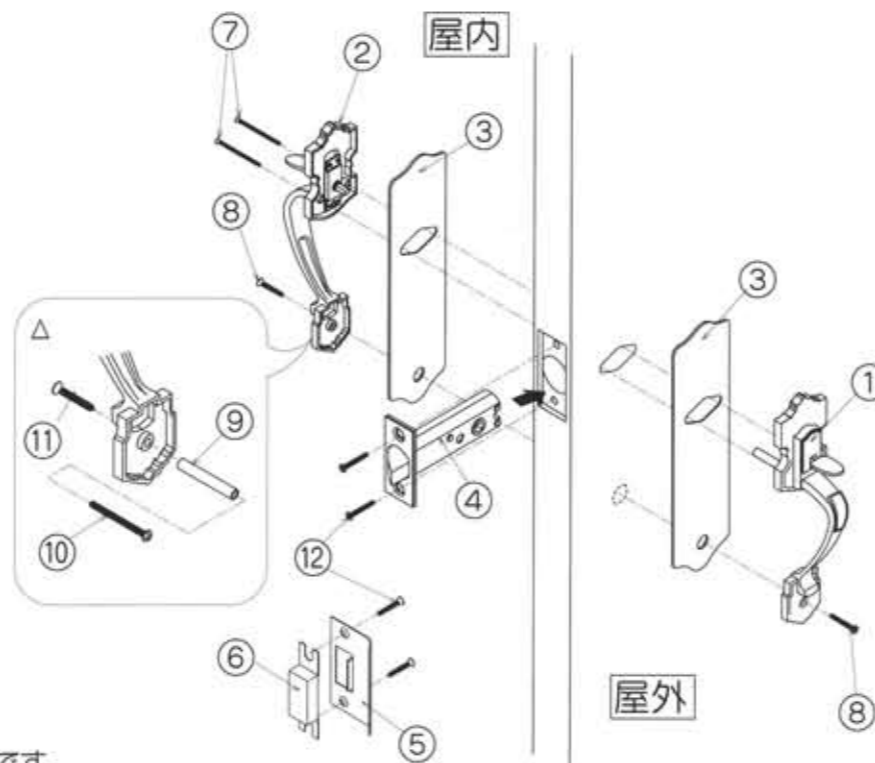
(ドア材に影響がない事を必ずお確かめください。また、作業終了時には、取り除いてください。)

※ 本体下部に切欠き加工を施したときは右図Aの様に⑨連結パイプを⑩⑪ねじ取付けてください。

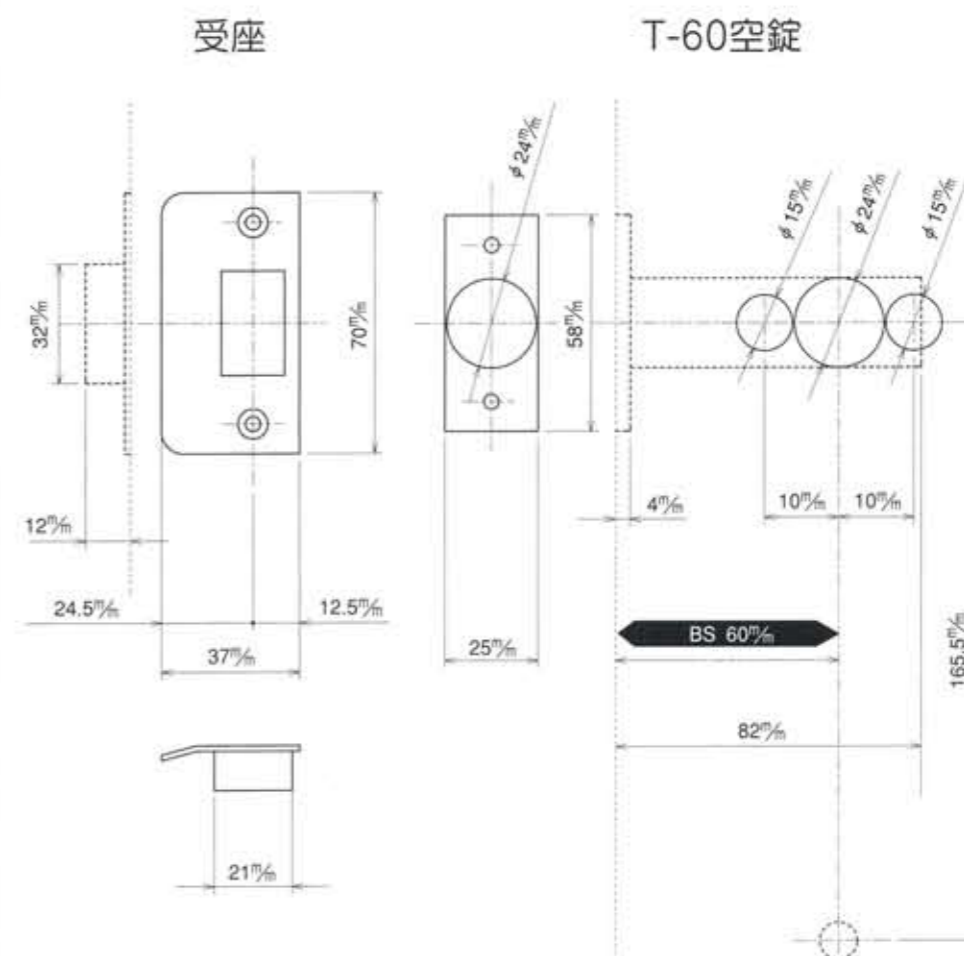
本体(おもて)・(裏)をセットし⑦本体固定ねじと⑧本体(下)固定ねじでしっかりと取付けてください。

◎ サムラッチ作動にて錠ラッチボルトがスムーズに作動することを確認してください。

本図は右吊り元仕様



参考切欠き図



NAGASAWA

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811(代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031(代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032

大阪支店 TEL. 06-6783-5091(代)
FAX. 06-6783-5092